

目 次

序	i
凡例	v
本書の使用にあたって	vii
後発医薬品に係る調剤報酬点数	xi
薬価基準と後発医薬品	xxi
後発医薬品とその発生	xxxii
販売名索引	黄色ページ 販売名索引 1
一般名索引	黄色ページ 一般名索引 1
内用薬	1
外用薬	175
メーカーリスト	245
オレンジブック保険薬局版2008年4月版 付録CD-ROM取扱説明	251

凡 例

1. 本書は、平成20年4月実施の調剤報酬「後発医薬品調剤加算」「後発医薬品情報提供料」算定（平成14年4月実施調剤報酬改定より導入）に対応しています。平成20年3月5日厚生労働省告示第60号による薬価基準改正（平成20年4月1日実施）に準拠しております。
2. 医薬品リストに掲載の医薬品は、厚生労働省告示の薬価基準収載品目です（経過措置品目を除く：平成20年3月5日現在）。なお、厚生労働省が示した診療報酬における後発医薬品^{*1}には局方品、生薬および漢方製剤は含まれていないため、本書でも割愛しました（銘柄収載局方品を除く）。
3. 医薬品リストは内用薬と外用薬に分けて収載しています（歯科用薬剤を除く）。医薬品リストの配列は、一般名の50音順です。なお、配合剤は販売名索引より検索してください。
4. 医薬品リスト【製剤特性】欄は、内用固形製剤のうち「普通」は普通製剤、「腸溶」は腸溶製剤、「徐放」は徐放製剤を表示しています。また、本書では「口腔」は、口腔内崩壊錠、口腔内速溶錠、口腔粘膜貼付錠、舌下錠等の製剤を表示しています。
5. 医薬品リスト【後発品】欄の「○」は、厚生労働省が示した診療報酬における後発医薬品（平成20年3月5日現在）を表示しています。
6. 医薬品リスト【品質情報】欄に☒（「公示」の略）：厚生労働省が、品質再評価結果により「医療用医薬品品質情報集」（日本版オレンジブック）^{*2}No. 1～28に収載した品目（平成19年10月5日現在）に加えて、「医療用医薬品再評価結果 平成19年度（その5）」（平成20年3月21日 薬食発第0321004号厚生労働省医薬食品局長通知）で品質再評価結果が公示された品目。
【品質情報】欄に☑（「承認」の略）：品質再評価結果公示後に公的溶出試験規格を設定して承認された品目（平成19年7月31日現在）。
「公示」も「承認」も同じ公的溶出試験規格を設定しており、それに適合する。
7. 医薬品リスト【備蓄】欄には、各保険薬局の備蓄品目にチェック印を記入できます。
8. 販売名索引と一般名索引が付いています。
9. 付録（CD-ROM）には、内用薬の「成分別・製剤別の品質再評価結果検索・備蓄医薬品一覧作成支援システム」を搭載しています。使用方法・動作環境等は、巻末の「オレンジブック保険薬局版2008年4月版 付録 CD-ROM 取扱説明」（p.251）を参照してください。
 - ① オリジナルの「備蓄医薬品一覧」作成機能
内用薬について、「後発医薬品情報提供料」算定要件である「備蓄医薬品一覧」をオリジナルに、簡単に作成するため、備蓄医薬品一覧作成支援システムを搭載しております。
また、先発医薬品との単位当たりの薬価差額を追加表示しています。備蓄医薬品リストは、更新毎に上書きされ、備蓄一覧がCSV ファイルとしても保存可能となり、Windows Vista にも対応しております。CD-ROM は、局方改正に伴う新一般名、会社名でも検索できます。新たに「備蓄モード」搭載で備蓄品のみの表示も可能になりました。
 - ② 成分別・製剤別の品質再評価結果情報を収録・検索
「医療用医薬品品質情報集」（日本版オレンジブック）No. 1～28に収載された「溶出曲線測定

例)、「物理化学的性質」、「日本薬局方外医薬品規格第三部」のPDFファイルを取録し、成分別・製剤別に検索可能になっております。

- * 1) 診療報酬における後発医薬品使用環境整備の対象となる後発品；先発医薬品の特許が切れた後に、先発医薬品と成分や規格等が同一であるとして、臨床試験などを省略して承認される、いわゆるジェネリック医薬品
- * 2) 内用固形製剤のうち品質再評価が終了するなど、溶出性に係る品質が適当であることを確認している品目を取りまとめたもの

参考資料

- 1 日本公定書協会 編：「医療用医薬品品質情報集No. 1～28 (1999～2007)」、薬事日報社
- 2 日本版オレンジブック研究会：「オレンジブック総合版'07」調査結果